

Section 22

太字・斜体・下線・文字色を設定する

覚えておきたいキーワード

- ☒ 太字／斜体／下線
- ☒ 文字の色
- ☒ 文字の効果

文字列には、**太字や斜体、下線、文字色などの書式を設定**できます。また、＜フォント＞ダイアログボックスを利用すると、文字飾りを設定することもできます。文字列には文字の効果として影や反射、光彩などの視覚効果を適用することができます。

1 文字に太字と斜体を設定する



メモ 書式の設定

文字の書式用のコマンドは、＜ホーム＞タブの＜フォント＞グループのほか、ミニツールバーにもまとめられています。目的のコマンドをクリックすることで、文字書式を設定することができます。



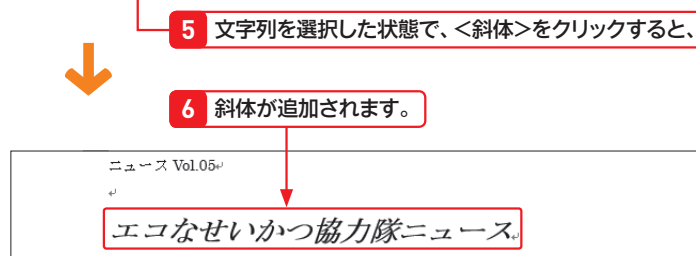
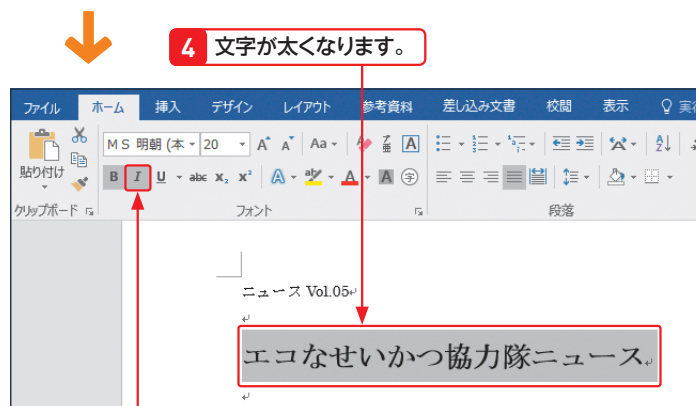
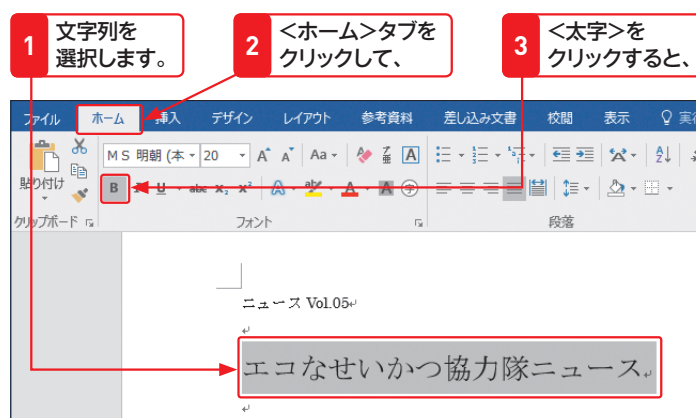
ヒント 文字書式の設定を解除するには？

文字書式を解除したい場合は、書式が設定されている文字範囲を選択して、設定されている書式のコマンド（太字なら **B**）をクリックします。

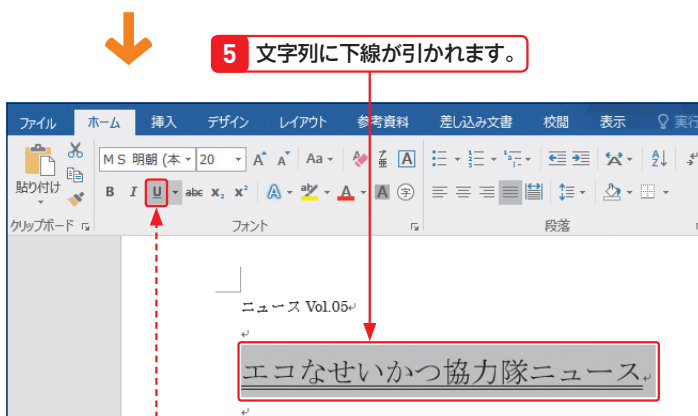
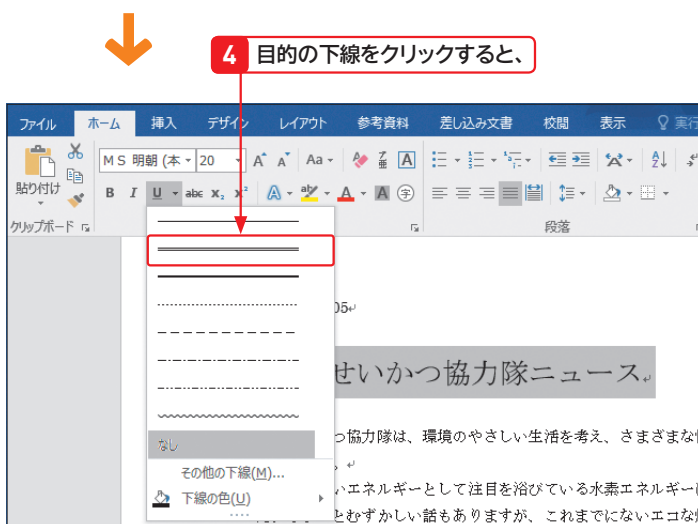
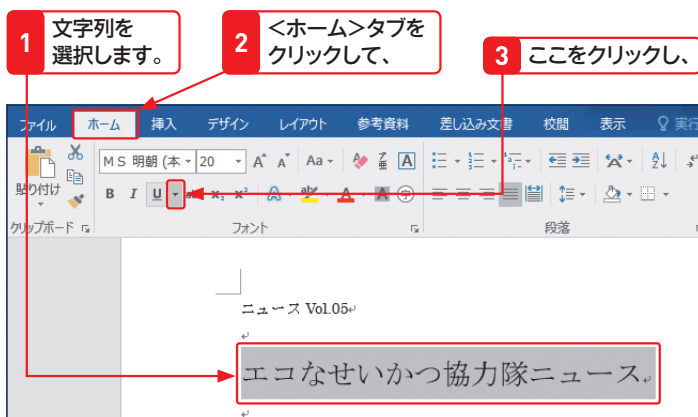


ヒント ショートカットキーを利用する

文字列を選択して、**[Ctrl] + [B]**を押すと太字にすることができます。再度**[Ctrl] + [B]**を押すと、通常の文字に戻ります。



2 文字に下線を設定する



下線を解除するには、下線の引かれた文字列を選択して、<下線>  をクリックします。



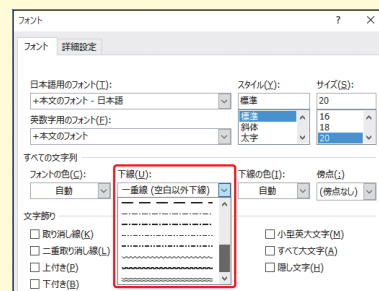
メモ 下線の種類・色を選択する

下線の種類は、<ホーム>タブの<下線>  の  をクリックして表示される一覧から選択します。また、下線の色は、初期設定で「黒(自動)」になります。下線の色を変更するには、下線を引いた文字列を選択して、手順4で<下線の色>をクリックし、色パレットから目的の色をクリックします。



ステップアップ そのほかの下線を設定する

手順4のメニューから<その他の下線>をクリックすると、<フォント>ダイアログボックスが表示されます。<下線>ボックスをクリックすると、<下線>メニューにない種類を選択できます。



ヒント ショートカットキーを利用する

文字列を選択して、**[Ctrl] + [U]**を押すと下線を引くことができます。再度**[Ctrl] + [U]**を押すと、通常の文字に戻ります。

Section 44

連続したデータを入力する

覚えておきたいキーワード

- ☑ フィルハンドル
- ☑ オートフィル
- ☑ 連続データ

オートフィル機能を利用すると、同じデータや連続するデータをすばやく入力することができます。オートフィルは、セルのデータをもとにして、**連続するデータや同じデータをドラッグ操作で自動的に入力**する機能です。書式のみをコピーすることもできます。

1 同じデータをコピーする



キーワード オートフィル

「オートフィル」とは、セルのデータをもとにして、連続するデータや同じデータをドラッグ操作で自動的に入力する機能です。



メモ オートフィルによるデータのコピー

連続データとみなされないデータや、数字だけが入力されたセルを1つだけ選択して、フィルハンドルをドラッグすると、データをコピーすることができます。「オートフィル」を利用するには、連続データの初期値やコピーもととなるデータの入ったセルをクリックして、「フィルハンドル」(セルの右下隅にあるグリーンの四角形)をドラッグします。

	A	B	C
1	電子書籍		
2			

フィルハンドル

	A	B	C
1	電子書籍		
2			
3			

1 データが入力されたセルをクリックします。

	A	B	C
1	電子書籍		
2			
3			

2 フィルハンドルにマウスポインターを合わせて、

マウスポインターの形が+に変わります。

	A	B	C
1	電子書籍		
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

3 下方向へドラッグし、

最後のセルに入力されるデータが表示されます。

	A	B	C
1	電子書籍		
2	電子書籍		
3	電子書籍		
4	電子書籍		
5	電子書籍		
6	電子書籍		
7			
8			

4 マウスのボタンを離すと、同じデータが入力されます。

オートフィルオプション(P.130 参照)。

2 連続するデータを入力する

曜日を入力する

	A	B	C
1	日曜日		
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			

1 「日曜日」と入力されたセルをクリックして、フィルハンドルを下方方向へドラッグします。

	A	B	C
1	日曜日		
2	月曜日		
3	火曜日		
4	水曜日		
5	木曜日		
6	金曜日		
7	土曜日		
8			
9			

2 マウスのボタンを離すと、曜日の連続データが入力されます。

連続する数値を入力する

	A	B	C
1	1		
2	2		
3			
4			
5			
6			
7			

1 連続するデータが入力されたセルを選択し、フィルハンドルを下方方向へドラッグします。

	A	B	C
1	1		
2	2		
3	3		
4	4		
5	5		
6			
7			

2 マウスのボタンを離すと、数値の連続データが入力されます。



ヒント こんな場合も連続データになる

オートフィルでは、＜ユーザー設定リスト＞ダイアログボックス（「ステップアップ」参照）に登録されているデータが連続データとして入力されますが、それ以外にも、連続データとみなされるものがあります。

	A	B
1	5	
2	10	
3	15	
4	20	
5	25	
6		
7		

間隔を空けた
2つ以上の数字

	A	B
1	第1土曜日	
2	第2土曜日	
3	第3土曜日	
4	第4土曜日	
5		
6		

数字と数字以外の
文字を含むデータ



ステップアップ 登録済みの連続データ

あらかじめ登録されている連続データは、＜ユーザー設定リスト＞ダイアログボックスで確認することができます。＜ユーザー設定リスト＞ダイアログボックスは、＜ファイル＞タブから＜オプション＞をクリックし、＜詳細設定＞をクリックして、＜全般＞グループの＜ユーザー設定リストの編集＞をクリックすると表示されます。

ユーザー設定リスト	
ユーザー設定リスト(L):	リストの項目(E):
新しきリスト Sun, Mon, Tue, Wed, Thu, Fri, Sat Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday Jan, Feb, Mar, Apr, May, Jun, Jul, Aug, Sep, Oct, Nov, Dec January, February, March, April, May, June, July, August, September, October, November, December 日, 月, 火, 水, 木, 金, 土 日曜日, 月曜日, 火曜日, 水曜日, 木曜日, 金曜日, 土曜日 1月, 2月, 3月, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, 10月, 11月, 12月 第1四半期, 第2四半期, 第3四半期, 第4四半期 睦月, 如月, 弥生, 卯月, 辰月, 巳月, 午月, 未月, 申月, 酉月, 戌月, 亥月 甲, 乙, 丙, 丁, 戊, 己, 庚, 辛, 壬, 癸	

登録済みの連続データ

Section 92

スライドの順序を入れ替える

覚えておきたいキーワード

- ☒ サムネイルウィンドウ
- ☒ サムネイル
- ☒ スライド一覧表示モード

スライドはあとから順番を入れ替えることができます。スライドの順序を変更するには、標準表示モードのサムネイルウィンドウで、目的のスライドのサムネイルをドラッグします。また、スライド一覧表示モードでも、スライドをドラッグして順序を変更することが可能です。

第9章

スライドの作成と管理

1 サムネイルウィンドウでスライドの順序を変更する



ヒント

複数のスライドを移動するには？

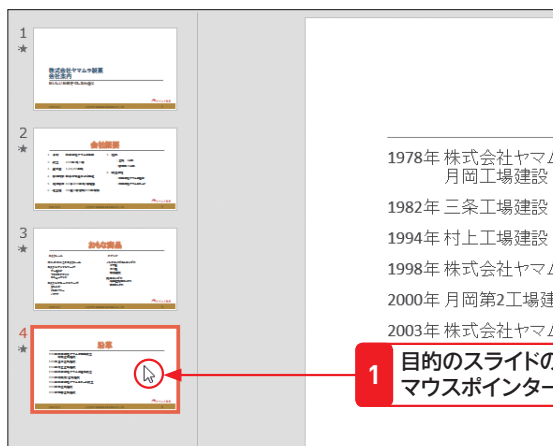
複数のスライドをまとめて移動するには、サムネイルウィンドウで **[Ctrl]** を押しながら目的のスライドをクリックして選択し、目的の位置までドラッグします。



メモ

スライドのコピー

スライドのコピーは Sec.93 で紹介しているリボンからの操作や、右クリックからの操作で行います。



1 目的のスライドのサムネイルにマウスポインターを合わせ、



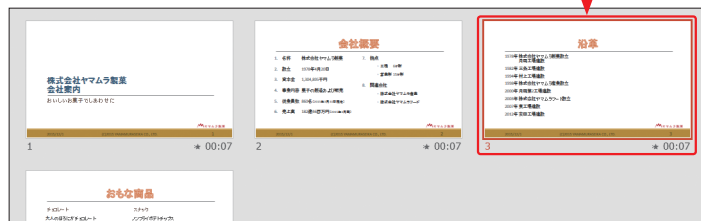
2 目的の位置までドラッグすると、





2 スライド一覧表示モードでスライドの順序を変更する

1 スライド一覧表示モードに切り替えて、



メモ スライド一覧表示モードへの切り替え

スライド一覧表示モードに切り替えると、標準表示モードのサムネイルウィンドウよりもスライドが大きく表示されます。スライド一覧表示モードに切り替えるには、<表示>タブの<スライド一覧>をクリックします。